

成長し続ける年に 平成30年度 施政方針

3月1日、第1回美里町議会定例会の冒頭で、原田町長が平成30年度の町政運営に対する基本的な考え方である施政方針を表明しました。まちの未来や今後の取り組みをその中から抜粋してお伝えします。



心身ともに美しく暮らせるまちづくり

地方を取り巻く状況は目まぐるしく、大きく変動しております。少子化による人口減少や団塊の世代が後期高齢者となり、社会保障費用の増加が予想される「2025年問題」。また、道路や公共建築物の維持管理費の増大など多くの課題が山積しております。

町の方向性としては、多様な資源を活かし町の魅力をさらに高め発展させ、安心して生活できる地域を目指した地方創生の実現が重要であると考えております。

これまで、町は、一人一人が美里町での暮らしを幸せに感じることができるよう、「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」の実現に向け、少子高齢化や人口減少に歯止めをかけるため、様々な取り組みを行ってまいりました。これらの中でも、町の姿を大きく変える事業として重点施策に位置付けた「寄居PAスマートインターチェンジ事業」及び「産業団地整備事業」につきまして、着実に推進しているところでございます。引き続き、スマートインターチェンジについては、早期開設を目指し、産業団地整備につきましては、平成30年度末の造成工事完了に

向け、県や関係機関と協力しながら取り組んでまいります。町の将来において、新たな雇用が生まれ、町の発展に結びつくものと確信しております。平成30年度はこれらを土台とし、さらに町を発展させるための施策を確実に実施していきたいと考えているところでございます。

新規事業

教育・文化

教職員の長時間勤務の実態が看過できない状況であり、中学校教員の業務を支援するため「スクール・サポート・スタッフ」を配置するとともに、「学習支援員」を増員してまいります。併せて、これからの公立学校は、子どもたちへの教育活動等を一層充実していく観点から、「地域とともにある学校づくり」への転換を目指すことが必要であるとされています。今後、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の導入に向けた準備と支援、学校と地域の一層の連携を図ってまいります。

産業

施設関係では、中央公民館のトイレの洋式化や町民体育館の屋根補修工事、総合グラウンドの夜間照明改修工事を実施し、安心安全にご利用いただける施設運営を目指してまいります。

保健・福祉・医療

健康づくりでは、平成29年度から「ミムリン健康ポイント事業」を実施しました。現在1,500人を超えるかたの参加をいただいております。平成30年度は4月から1年を通してポイント事業を実施します。

国民健康保険については、平成30年度から新たに都道府県が市町村とともに保険者となる等の大改革が行われました。国保制度を持続可能なものとしていくために、新制度への着実な移行と、町としての医療費抑制につながる取り組みを強化してまいります。介護保険事業については、安定した事業を実施するため、平成30年度から平成32年度までを計画期間とする「第

主要事業

寄居PAスマートインターチェンジ

寄居PAスマートインターチェンジ事業では、平成29年12月に第3回地区協議会を開催し、供用開始時期の変更とスマートインターチェンジの正式名称の原案を決定したところでございます。

平成30年度は、スマートインターチェンジ出入口の整備に関する負担金に加え、アクセス道路として町道790号線の整備費を予算計上しております。関係機関と協力し、事業の早期完成に努めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

主な事務事業

特産品

町を代表する特産品であるブルーベリーにつきましては、新たな加工品の創出や、地域団体商標登録の取得を目指し、ブランド化を図ってまいります。

新たな町の特産品である「えごま」につきましては、栽培面積を拡大するとともに、加工品の生産・販売を進め、「美里えごま」として広くPRしてまいります。また、近年、注目度の高い機能性農産物の栽培を進め、新たな特産品の開発を進めてまいります。

子育て

妊娠、出産、育児の各段階を一貫して支援できる保育サービス体制の充実を図るため、平成32年度までに「子育て世代包括支援センター」の設置が求められています。町では平成31年度開設に向けて着実な準備を行うとともに、乳幼児の健全な発育・発達や子育てを支援するため、専門スタッフによる発達相談の充実にも努めてまいります。

街づくり

町の空き地を有効活用し、荒廃防止と町内への

むすびに

定住を促進させて地域活性化を図ることを目的に、平成29年12月から「美里町空き地バンク制度」の運用を開始しました。空き地を売却・賃貸したい方、空き地を利用・購入したい方へ制度を活用していただけるよう情報提供に努めてまいります。

今年、戊午(い)でございます。嗅覚が優れている犬のように、これまでの施策を土台に、様々な情報を嗅ぎ分け、成長し続ける年にしたいと考えております。

美里町長 原田信次



7期美里町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定しました。一人一人のニーズにあわせた支援や介護サービスを受けられるまちづくりを推進してまいります。また、平成29年度に4つの行政区をモデル地区として「元氣いきいき100歳体操」が立ち上がりました。平成30年度は更に他の行政区へ普及できるよう努めてまいります。

街づくり

スマートインターチェンジや産業団地の整備とあわせ、産直館や加工施設などの多面的機能を持たせた、まちの核となる地域活性化施設の整備について検討してまいります。平成30年度は、民間活力の活用や整備手法など、地域活性化施設の実現可能性等の調査を実施してまいります。

移住定住促進を図るため、町の魅力や移住・定住施策の情報を掲載した、移住定住パンフレットを作成し、東京都にある「ふるさと回帰支援センター」等で配布します。

また、本町へ転入し首都圏等に通勤する若者の定住・移住促進を図るため、新幹線定期券の購入費の一部を補助します。

健康づくり

次に、町の健康づくりにつきまして、健康と幸せは切っても切れません。歩くことによる健康長寿をまちづくりの柱とし、生活習慣病や認知症を予防することにより、高齢になっても介護を必要としない「いきいきとした人」や自らの経験を活かして「地域の支え手となる人」が増えるよう、更に健康づくり事業を推し進めてまいります。